



事務事業名	市認定農業者育成事業	事務事業No.	40101000813	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成5年の国による認定農業者制度の創設に伴い、認定農業者の組織化を図る必要性が生じたことに加え、会員の経営技術の向上を目標とした積極的な活動を推進していくために開始された。</li> <li>桜川市認定農業者連絡協議会については、平成21年11月13日に設立され、講演会や視察研修を通して多くの農業者が経営を行っていく上での知識や能力を磨いている状況にある。</li> </ul>					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者の高齢化が進行しており、経営規模の縮小や身体の不調等の理由により、認定の更新を辞退したいという者がいる一方で、新規に認定農業者となり、地域の中心となる経営体を目指す農業者もいる。</li> <li>後継者のいない認定農業者や兼業農家も増加傾向にある。</li> <li>認定農業者が交流を深めることのできる貴重な組織の一つとなっている。</li> </ul>					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 農業の振興につながり、担い手の育成・支援を図ることができる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 認定農業者相互の交流の促進を図り、農業の振興を推進していくため、市が中心となり運営すべきものである。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 新たに認定農業者に認定されたものも、多くが認定農業者連絡協議会に加入している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 認定農業者相互の交流の機会が減少することに加え、農業経営技術を向上させるための活動が鈍化し、農業の振興に対して悪影響が出る懸念される。担い手から後継者への技術の継承にも負の影響が生じる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 平成26年度より市補助金が廃止され、会員の会費のみで運営しているので、削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 情報の伝達等に関しては、全会員に行っているため適正である。また、農業経営改善計画の認定申請についても、年齢や経営規模の大小を問わず、受け付けていることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	総会、講演会及び視察研修等がコロナウィルスの影響により開催できなかったため、他の支援を含めた検討が必要である。 引き続き、担い手の育成に尽力していく。 今後も、農業生産基盤の保全や、後継者の確保等に重点を置き、認定新規就農者が増加するように支援策を講じる。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○																										
低下	維持																												
	低下																												
		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>